

わっはっは神明

何れも 笑顔の 夏恒例の 行事

デイサービスセンターわっはっは神明
TEL : 0774-24-1088 / Fax : 0774-24-7088
e-mail : wahhaha1088@future.ocn.ne.jp

2024 年度夏号 (6 月 7 月 8 月)

今号の一枚



わっはっは神明では、今年も夏恒例の「浴衣撮影会」を実施しました。

ここ最近では浴衣を着る機会が少なくなっておられるご利用者の皆様ですが、いざ浴衣を選びそでを通すと「こういうポーズのほうがいいかな」と様々なポーズを決めきれいに映っておられました。



共同制作

6月~8月



共同制作はボランティアの方に下地を書いていただいたうえでご利用者の皆様とともに1か月かけて色塗りや貼り付け等おこなっています。

ご利用者も共同制作の進行状況について気にされており「今月どういった絵になる?」「まだできていなかったらするよ」等、自発的に協力のお声掛けをいただくことがあります。

編集後記

9月になり少しは気温が下がりましたが、依然として夏のような日々が続いており、秋はもう少し先ようです。

皆様におかれましては、まだ夏の気持ちで水分補給や食中毒対策をしっかり行い、お体にお気を付けください。

~今夜も勉強中~

デイサービスのご利用者をご自宅にお送りした後も、職員の仕事は終わりません。

当日の振り返りを行うとともに、現在は月に一回介護労働安定センターから講師の方をお招きし、様々な研修を行っています。

先日もわっはっはだけでなく同じグループであるグループホームすみれ・おりぶの職員も一堂に介して「認知症について」の勉強会を開催し、職員間で「ご利用者役」「職員役」に分かれて『ご利用者に対しどのような対応が良いのか』を勉強しました。

今回のように研修を通じ様々な内容を学んでいき今後のサービスへつなげていきたいと思っております。





ボランティアの方々も、わっはっはを形作るとも大切な1ピースです。今回は普段ボランティアに来られる方のご主人より「ハーモニカの演奏を出来るので演奏したい」とのお話があり、お願いしてデイサービスで演奏会を開催しました。ボランティアの方のハーモニカ演奏に合わせてご利用者が昔の童謡などの歌と一緒に歌い、皆様とても喜ばれていました。

ハーモニカの

懐かしい響き

わっはっは
の日々
～夏の風景～
※撮影時以外は
マスク着用しています

ビーズの輝き



先日、ご利用者より「昔使っていたビーズが自宅にあったが今は目も見えづらくやっているのでデイサービスに寄付する。自由に使ってほしい。」と大量のビーズをいただきました。使用方法を職員で検討した結果、テグスや糸を用意しビーズを使ったブレスレットやストラップを作るワークショップを開催。最初は「出来ない」と言われていたのですが、いざ始めると皆様集中して糸をビーズに通されており、完成した作品に皆様喜ばれていました。



ピアノの音色 軽やかに

わっはっはには電子ピアノが置かれています。

ある日、昔学校の教員をされていたご利用者とピアノの話をした際に実際引いていただくことに。

ピアノを弾くのはおよそ半世紀ぶりだったそうですが、譜面もなくしっかりとひかれていました。その音色を聞いたほかのご利用者が「月の砂漠を弾いてほしい」とリクエスト。

ご利用者の伴奏に合わせ、みんなで歌った月の砂漠の歌声がデイサービス内に響きわたっていました。



夏もお出かけ

猛暑日が続いた今年の夏。

外に出て移動するだけで命の危険があるような暑さであったため、外出レクを行うにも二の足を踏むような状態でした。

ただ、外出することで気分転換を図って頂こうと室内施設への外出を検討し、宇治市歴史博物館へ外出しました。

訪問当時は戦時中の宇治の暮らしについて展示されており、「むかしこうだったな」と昔を懐かしまれるとともに、冷房の効いた館内をしっかりと歩いて自然と足の運動にもなっていました。

